全日本建設交運一般労働組合

全国酸素部会機関紙部 建交労

TEL 072-241-6660

ctgsansobukai@ybb.ne.jp

年振りの交運共闘・全国交流



交運共闘・高城議長



交運共闘・鈴木事務局長

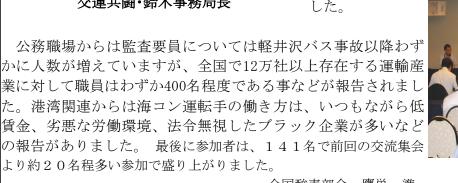
より約20名程多い参加で盛り上がりました。

2017年7月8日~9日にかけて愛知県豊橋市・ホテルシーパレス リゾートで12年ぶりに交通運輸労働組合共闘会議(交運共闘)第2 回全国交流集会がおこなわれました。

主催者あいさつを交運共闘・高城議長がおこなった後に関西大 学社会安全学部教授・学部長の安部誠治氏から規制緩和と安全を テーマに講演があり「市場の失敗」と「政府の失敗」(規制と規 制緩和)などの問題点と貸切バス、運輸産業の課題が提起されま した。その後、地方交運共闘から北海道、宮城、首都圏、愛知、 京都、大阪、九州の順番で報告がありました。2日目は軽井沢ノ ス転落事故、トラック重大事故の動画視聴後にパネルディスカッ ションがおこなわれました。

交通運輸労働者の過労死、疲労リスク、安全問題についてパネ リストとして、航空関連・吉岡航空安全推進連絡会副議長、トラッ ク関連・芦崎建交労中央執行委員、タクシー・バス関連菊池自交 総連本部書記長、公務職場·佐藤国土交通労働組合、港湾関連· 三宅全国港湾海貨物流労組協議会事務局長、コーディネイター 赤羽交運共闘前議長で討論に入りました。航空関連からは航空職 場で働く労働者の紹介、各職場の労働実態、今後のとりくみの報 告がありました。トラック関連からはトラック運転者の過労死認 定が全産業中飛び抜けて多い事が報告されました。タクシー、 ス関連からは長時間労働の深刻さで、統計ではバスが2486時間、 タクシーが2301時間となっていますが正規労働者に限れば実態は

もっと長くなる 事、労働時間が 不規則で健康に 影響があるなど の報告がありま した。







パネルディスカッションの様子

7月31日に酸和運送の団交がおこなわれ、当該組合員2 名の他に和歌山県本部村田委員長、中央本部役員の石 川氏、酸素部会から大陽2名立正1名寿1名が参加しました。

これまで団交のあり方などでなかなか要求が進まなくて、 争点整理して会社と対等に話しできる環境づくりを行いま した。その結果、会社は組合の要求を持ち帰り、次回回答 することを確認して交渉を終わりました。

立正運送分会 島向 高

大陽日酸 要請行動

1月28日にエスイーイー物流分会と会社との労働争議の現状報告とドライバーの下車勤務問題について、解決に向けての協力を荷主である大陽日酸へ要請をおこないました。

当日は、当該組合員3名の他に広島県本部から1名 愛媛県本部から1名、福山地域支部から1名の役員と酸 素部会から1名の参加でおこないました。

全国酸素部会部会長 米田 順一

堺市長選9月10日告示



大阪では堺市長選挙が9月10日告示の9月24日投票で たたかわれます。

それに先立ち7月26日に大阪労連・堺労連主催で堺市 長選決起集会がおこなわれました。維新は住民投票で否 決された都構想を再び持ち出そうとしています。

それに対して、都構想に反対する市民の声を組み上げる市長候補に、なんとしても勝ってほしいと会場に151名の 人が参加して市民の為の市政にと盛り上がりました。

大陽液送慰安旅行



7月1日に大陽液送の慰安旅行があり、岡山県の湯原温泉に行ってきました。

今年は、大陽系列の中国大陽液送と九州液送と三社 合同での旅行となりました。

もともと三社は同じ会社で分社されて以降に建交労が出来て大陽連絡会として交流がありました。大陽液送から9名、中国大陽から3名、九州液送から、今年退職された山崎さん含め13名と久しぶりに賑やかな旅行となりました。 大陽液送分会 米田 順一